

文化芸術団体等からの活動報告等

(五十音順)

団体名	内 容
愛歌会	現在の社会は「多様性」がこれまでになく広範に進行していて、社会全体がその事を無視したり看過しては進めなく発展もできなくなっており、これは種々のハラスメント予防にも大事な認識で、私達はこの事から阻害されたりする対象の無いよう配慮しつつ、すべての文化芸術衝動のある方を努めて寛容に舞台に上げ、共に協同して目的の達成を分かち合っています。
庵治踊り保存会	高松市の文化財に指定されている庵治踊りは、二本の扇を一本ずつ持って踊る踊りで、扇の回し方に技法があり、扇を持って踊る踊りの中では珍しい踊りです。現在では会員も高齢化が進んでおります。
庵治締太鼓保存会	第2、第3木曜日と第1、第4土曜日の月4回、やすらぎ会館にて定例の練習を実施しています。この他に毎月1回庵治小学校の太鼓クラブ（4年生が中心で11名）の指導を行っています。11月11日には、庵治中学校体育館で開催の庵治祭2023に参加して「三打法」を披露しました。
綾歌吹奏楽団	年1回の定期演奏会を毎年11月に開催しています。 今期は、多くの新入団員を迎え団員数が50名を超えました。演奏会の来場者数も600人を超え、多くの方々に演奏を聴いて頂ける喜びを実感しています。 次回第25回定期演奏会は、2024年11月10日にホルン奏者今井仁志さんをお招きしてアイレックスホールで開催予定です。ぜひお越しください。
一絃琴一遙会	6月「アーツフェスタ高松」で、日本の抒情歌を演奏。小学1年生の子が、サヌカイト、鈴、太鼓で盛り上げてくれました。 9月「坂出香風園観月会」観客は芝生広場。『丹頂鶴』を演奏。 11月「坂出芸能祭」『須賀』『漁火』を演奏。 舞台上で演奏できるよろこびを味わいました。
宇多津鹿島踊り保存会	宇多津鹿島踊りは、江戸時代の承応4年（1655）旧暦6月より7月にかけて踊り始めた踊りです。368年前で始まりがはっきりした踊りはないと思います。この踊りを後世に残そうと思って頑張っています。 戦後一時途絶するも平成27年より小学校で3年生社会科の時間、夏には寺子屋で教えています。 原点の盆には大会を開き文化祭、収穫祭、ひな祭などのイベントへの参加、昨年は「中四国文化の集い」広島大会に参加しました。
一般財団法人宇多津町振興財団 ユープラザうたづ	R5年度は、ホールイベントの数がコロナ前の数に戻りましたが、集客数は予想以下になっています。 R6年度は、ホールの吊り天井工事のため約1年間休館します。
S K G ジャズオーケストラ	今年で結成58年になります。2019年の定期演奏会を最後にコロナ禍で活動が約3年間中断していました。今年の5月からようやく練習を再開、9月のSABLコンサートin徳島、11月にはユープラザうたづ主催のオータムジャズコンサートに出演、再びみなさんの前で演奏できるようになりました。現在のメンバー数は18人、高齢者が3分の1を超え、平均年齢も50歳を超えましたが、これからもビッグバンドジャズの醍醐味を伝えていきたいと思えます。
Sプロジェクト	昨年末にSプロジェクト10周年記念コンサート「國末貞仁 & 白井奈緒美サクソフオンDuoコンサート」ピアニスト蒲生祥子さんを招き、「年末コンサート10」とともに終演することが出来ました。池田知事にも、ご来場いただき、ふるさとの演奏が國末くんと出来たことに感無量です。温かいご支援、ご協力ありがとうございます。 香川県の文化発展に貢献出来るよう今後精進して参ります。今後とも宜しくお願いいたします。
MOA美術館 香川県児童作品展連絡協議会	本作品展は、小学生を対象に「学習指導要領」にもとづき、子供たちが自然・環境、社会、他者との関わりを通して、興味や関心をもったことを、感性を働かせながら表現することで、情操を養い豊かな心を育てることを目的としています。 本作品展では、様々な個人や団体と協力をしながら、学校・家庭。地域が連携し、社会全体で、子供達を育てていくことを重視し、関わる全ての方々の善意のボランティアで運営され、地域社会の絆を深め、心身ともに健康な活力あるコミュニティづくりに繋がればと願って行っております。昨年は、香川県下で3496点の応募があり、7会場で作品の展示や表彰式を実施しました。多くの方にご来場いただき、子供達の笑顔あふれる作品展となりました。

団体名	内 容
桜華書道会	<p>桜華書道会は発足から25年、幼児から高齢の方まで約150名が、硬筆やペン字から毛筆で漢字、仮名、近代詩文、前衛書など、基礎から創作に至るまで色々なジャンルに取り組んでいます。2020年から「書彩」という月刊書道誌を発行し始め、日々の研鑽を重ねています。また基礎練習だけでなく、石、木、布などを素材にした書作品を制作したり、山野草や音楽とのコラボレーションを試みたりし、社中展や地域会場での小作品展示なども開催しています。また、中高大学生は年1回、書道パフォーマンスも披露しています。</p> <p>これからも常に新しい作品を創造するよう励んで参りたいと存じます。今後ともどうぞよろしくお願いたします。</p>
岡田おどり保存会	<p>岡田おどり保存会では、毎月第二火曜日に定例会を行い、各事業・公演・練習等の打合せを行っています。</p> <p>県内外・市主催イベント等、年間5回～7回程度は公出演を行っております。</p> <p>岡田おどり保存会は四百年余りの伝統を継いでおりますが高度成長以来会員の減少に悩んでいます、地元小学生、住民の皆さんにも呼びかけながら、岡田おどり主人公のキャラクター「岡田久次郎」を作り公演にも出演しながらPRに励んでいるところです。</p>
絵画造形教室アトリエK	<p>世界中で戦争や武力紛争が起って止まない今、大切に未来に守るべき「森」をテーマに、かがわ文化芸術祭に参加しました。いろんな国、民族、人種の違い、大人も子供も男女の区別もなく全てを包摂してくれるものの象徴としての「森」をクリスマスに向け表現し、沢山の動物達を描き製作しました。社会と繋がる表現を皆で協働し、この作品をさらに深めて、NHK高松放送局ギャラリーで展示し皆さんに観ていただくのが楽しみです。</p>
香川県歌人会	<p>歌誌「香川歌人」を季刊にて年4回発行しています。</p> <p>香川歌人月例短歌会を月1回（第3木曜日）に開催。毎年秋（11月）には、玉藻文芸まつり短歌大会を運営しています。歌人会の賞として今「香川現代短歌賞」を広く募集中です。</p>
香川県歌人協会	<p>香川県歌人協会発行の月刊誌「短歌海流」は、1月号で通巻298号を迎えます。また、新年度より隔月発行に切換え新しい船出となります。</p> <p>第23回短歌海流賞には、三豊市在住の桑田さちこ氏が受賞、今後の活躍が期待されています。</p>
香川県かるた協会	<p>私たちは、百人一首競技かるたを愛好するグループです。（一社）全日本かるた協会に所属し、かるた技の向上のため、切磋琢磨しています。</p> <p>メンバーは、小学生から中・高・大学生、一般と多岐に渡り、他県の方と一緒に練習したり、大会で対戦したりと交流も盛んです。様々な方と対戦する中で、自分の強みと弱みを知り、相手より100分の1秒速く扱うため、工夫を続けています。この楽しさを味わってみたい方は、ぜひ日曜日、高松興正寺別院にお越しください。</p>
公益財団法人香川県教育会館（ミューズホール）	<p>今年（R6）で創立38周年を迎えました。</p> <p>宜しくお願いたします。</p>
香川県吟剣詩舞道総連盟・臥風流吟詠会	<p>日本人の心を詠い舞う吟剣詩舞道は、昨年よりコロナ前と同じ要領で開催し、ようやく活気が戻ってきました。特に令和5年3月5日レクザムホール大ホールで開催された吟詠家・徳田寿風氏の「吟歴50周年コンサート」は満員のお客様をお迎えして、池田豊人県知事様には、ご来駕の上、お祝辞を賜りました。又、9月18日東京で開催された全国吟詠コンクール決勝大会では、昨年に引き続き全国優勝者を輩出致しました。そして、12月10日千葉県市川市で開催された全国吟詠詩舞道大会では合吟コンクールで香川県チーム（男子15名）が第3位に輝きました。このように昨年は大きく飛躍した年となりました。</p> <p>今年も伝統芸能である吟剣詩舞道発展のため、更に精進努力を重ね向上に努めたいと思っています。</p>
香川県三曲協会	<p>香川県三曲協会は、昭和50年9月県下の箏・三絃・尺八の指導資格を持つ会員200名で発会しました。令和6年で発会して49年となります。</p> <p>令和6年は、コロナが収束することをお祈りしつつ、会員による演奏会や地域における文化活動、学校機関への出前講座やミニコンサートの開催など積極的に活動し、香川県の文化芸術の振興に寄与したいと思っています。</p>
香川県写真家協会	<p>香川県下の写真愛好家の発表する機会を少しでも多くしたいと取り組んできました「公募展・第4回香川県フォトグランプリ'2023」を実施いたしましたところ、応募者 126名、応募点数 290点と多くの参加をいただきました。東京の先生に審査していただき、77点の作品を香川県文化会館にて12月3日～10日展示をし、多くの来場者となりました。また、同時に会員の写真を3階にて展示し内容の濃い作品が皆様に見てもらえたのではないかと思います。</p>

団体名	内 容
香川県小・中学校文化連盟	<p>香川県小・中学校文化連盟では、児童生徒の表現力を培い創造力を高めることを目的に、香川県小・中学校総合文化祭を開催しています。当事業は展覧会や音楽会の他、科学体験発表会や創造アイデアロボットコンテストなど全9部門で開催し、学校における文化芸術活動の成果を広く県民の皆様発信しています。</p> <p>今後も児童生徒が多くの感動体験を得て、感受性豊かな人間として成長するように支援していきます。</p>
香川県知的障害者福祉協会	<p>新型コロナウイルス感染症の為、3年に渡りオンラインでの開催しかできませんでしたが、令和5年度は対面での研修事業、スポーツ行事、芸術活動に積極的に活動しています。</p>
香川県能楽会	<p>当会は、第12回国民文化祭香川'97「能楽の祭典」支援を目的に、県内で活躍する能楽関係団体に流儀の枠を超えてよびかけ、結成されました。</p> <p>永きにわたり受け継がれてきた貴重な文化遺産、能楽・囃子・狂言の魅力を若い人たちに伝えていかねばと、本物に触れる鑑賞の機会が増えるよう・・・そして香川の地に根付かせるため活動しております。</p>
香川大学合唱団	<p>香川大学合唱団は、混声合唱団として素敵なハーモニーを作りあげるために日々楽しく活動しております。</p> <p>コロナによる制約が少なくなった今年は、香川大学の行事や大学祭、コンクールにも参加し、活動の幅を広げております。</p> <p>毎年12月には、合唱団の集大成として定期演奏会を開催しておりますので、ぜひお越しください。</p>
香川第九実行委員会	<p>長いコロナ禍の日々を耐え、やっと取り戻した私たちの「香川第九」。</p> <p>昨秋は、2023「かがわ第九」演奏会を開催。ブランクの影響大で難問続出のステージでした。年毎に厳しくなる運営条件のもと「香川第九の灯を絶やしてはならない」との団員一同の熱意と周囲の温かいご理解ご支援を支えに、第九の歴史をつないでいきたいです。</p> <p>今後の活動予定 5月 鳴門第九有志参加 11月10日 2024「かがわ第九」演奏会</p>
香川町農村歌舞伎保存会	<p>農村歌舞伎祇園座は、昨年4月、恒例の東谷での歌舞伎公演を盛大に開催するとともに、9月は敬老会、11月は文化祭での公演を実施するなど、ほぼコロナ禍前に戻り、活発に活動を展開しています。</p> <p>また、当農村歌舞伎を舞台に、夢を追いかける青年とベテラン女優のおばあさんが出会い、成長していくという映画「スクエア・ダンス」の撮影も快調に進んでおり、今春には皆様に映画館でご覧いただける運びとなっております。どうぞご期待ください。</p>
香川二期会合唱団	<p>香川二期会合唱団は1960年に創設された混声合唱団です。1967年から毎年定期演奏会を開催し、今年はレクザムホール小ホールで第55回定期演奏会を開催しました。</p> <p>毎週火曜日の夜、合唱を愛する約40人の仲間がつどい、次の演奏会に向けて練習を重ねています。</p>
香川フルート友の会	<p>今年度9月に開催した「第33回日本フルートフェスティヴァルinかがわ」(第41回香川フルート友の会演奏会)はコロナ禍以前の形で行いました。ロビーでは、フルート展示試奏会を行い、県外からの参加者とも久しぶりに交流できました。</p> <p>また、2月には会員による「第46回香川フルート友の会発表会」を開催し、日頃の練習の成果を発表しました。</p>
香川レインボー映画祭実行委員会	<p>LGBTQなどをテーマにした映画祭です。</p> <p>2024年は、第20回を記念して盛大にできたらいいなと思っています。ぜひ、足を運んで観に来てください。</p>
歌集団KOH	<p>2019年に発足した私たちのグループは、これまでにドイツリート、オペレッタ、ミュージカル、オペラアリア等幅広いジャンルのコンサートを続けてきました。2020年にグループの発起人である秦清治氏の急逝により、そのご遺志をつなげるべく、新生KOHとして2022年より活動しています。</p> <p>2024年は「歌でつづるノスタルジーとロマンス」として10月に公演予定です。</p>
合唱団ミュージックウェイ	<p>当団の結成は、28年前の1996(平成8年)です。今までに、年1回の定期演奏会(2024年は11月10日(日)14:00~レクザムホール小ホールで開催)をはじめ、数多くの学校や福祉施設への訪問演奏などを行ってきました。また、全国シルバー合唱コンクールや香川県合唱祭への参加も行っています。</p>

団体名	内 容
莞歌社四国支部	莞歌社四国支部・書朋会書道展を毎年香川県文化会館で開催しています。令和6年（2月9日～11日）で29回展です。
KIDS DANCE PARTY実行委員会	毎年クリスマスに県内で活動するキッズダンスチームの合同クリスマス公演を、ユープラザうたづにて開催しています。コロナ前は、讃岐国分寺太鼓さんやフラワーデザイナーさんの花生けライブなど異分野の方々とコラボする作品もありました。ここ3年ほどはメンバーだけの公演にとどまっていたのですが、今後また新しい分野の皆さまとコラボして、ステージ作りをしていただければと願っております。
琴城流大正琴振興会 香川さぬき支部	琴城流大正琴振興会 香川さぬき支部は県内全域に拠点をもち、各々の指導者のもと、楽しい教室作りと演奏技術の向上を目指して活動しています。地域での発表会、文化祭、そして2年に1回開催する支部大会に向けて練習に励んでいます。音楽を通して仲間もでき、楽しい趣味を持つことで心も豊かになり、発表することで心地良い緊張感も味わえて、生活に張りができるのが何よりと考えています。
苦不の会	令和6年7月末をもって苦不の会を解散する予定にしており、今後は、地域ボランティアで老人の居場所作りのための作品作りの指導を行います。
劇団ドラマ・サロン	<ul style="list-style-type: none"> ○「菊池寛劇場」菊池寛名作リーディング・シアター 日時：令和6年3月3日（日）13時半～16時 場所：サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール ○「楽しい朗読のつどい」～聴く楽しみ、舞台を見るよろこび～ 日時：令和6年3月24日（日）14時～16時 場所：サンクリスタル高松3階 視聴覚ホール
劇団マグダレーナ	1984年に誕生しました劇団マグダレーナは今年で40周年を迎えることができました。皆様のご支援、ご協力に感謝いたします。令和6年の予定を申し上げます。4年前から始めました菊池寛シアターとしましては、3月31日「父帰る」をモチーフとした「四人姉妹」を上演します。また、秋には戯曲「藤十郎の恋」のイラストドラマを上映します。7月15日にはアーツフェスタ2024としてロックミュージカル「さぬき青春グラフィティ」舞台公演を、10月27日には、40周年記念として「沈黙の島」の上演を予定しています。
香翠座デコ芝居保存会	香翠座は人形浄瑠璃の一座です。天保4年（1833年）10月に松の根っこを頭にふくさを衣装にして「円座のデコ芝居」が、誕生して、今年で191年になります。昨年11月に香翠座創始190年記念公演を開催しました。海外の若者も舞台を務めましたが、人形芝居は人形1体に3人が必要です。現在、座員が不足しています。皆様の中で興味がある方一緒に人形芝居をしませんか？
国分寺町文化協会	国分寺町文化協会は、35団体・グループが加盟し美術、工芸、音楽、舞踊、文芸、学術、生活文化、郷土芸能、社会教育団体その他で構成しています。それぞれ分野で活動していますが、毎年11月の文化の日前後に国分寺町文化祭を行い、アートギャラリー、作品展示、芸能発表を行い多くの市民が参加して賑いをみせています。また、1月には文化講演会を開催し各地の民俗芸能等を招いて講演しています。
坂出緩衝緑地管理事務所 （指定管理者： 五栄カイリク株式会社）	坂出緩衝緑地管理事務所の秋の恒例行事となりました第17回木の実アート展を11月1日（水）から5日（日）まで5日間の日程で坂出市の番の州公園において開催しました。期間中は約1,600人が来場し、作者の発想の素晴らしさに感心した旨の声を多く頂きました。また、当日はアート作品の展示のほか、木の実を使ったクラフトワーク・やじろべえ作り、園内を巡るクイズラリー等を実施して、来場者の皆様に自然とふれあう楽しみや秋の訪れを感じて頂けたと思います。
坂本念仏踊保存会	令和3年、保存会結成40周年を迎え、その歩みを記した記念誌を発行しました。3年に一度「あたり年」と称して滝宮天満宮、滝宮神社に奉納する事業は継続中で最近では令和4年に実施しました。地元、飯山中学校生徒に「伝承教室」を実施する事業は、コロナ禍で3年間中止となりましたが、令和5年度も文化庁の伝統文化親子教室の採択を受け実施しました。令和5年11月、レクザムホールで開催された第65回中国・四国ブロック民俗芸能大会に出演し熱演を披露しました。

団体名	内 容
S A T Oの会	<p>声楽家・林里美の門下生による声楽グループで、毎年県内でのコンサートを開催してきました。5年前には関東支部を発足し、東京においてもコンサートを開催しています。発足22年になる今年は香川でのコンサートを開催予定です。会員には、県内のオペラ歌手・熊野愛巳や谷さおり、また東京で活躍中の谷原めぐみ（R5年度香川県芸術文化選奨受賞）を輩出するなど、県内外の多くのオペラ歌手が在籍しています。</p>
讃岐民謡保存会	<p>当保存会は、古い民謡を掘り起こし継承している会です。 2023年度は、多くの催し物に出演する事ができ、大変勉強になりました。 特に11月中国・四国ブロック芸能大会では親子教室の子供達も出演して良い経験をする事ができ良かったです。 又、三谷三溪小学校では毎年3年生による学習活動の中で地搦唄を取り組んでいます。民謡を通し、昔の人々の暮らしを再現する事で苦労を知ってもらえる事が目的です。</p>
佐文綾子踊保存会	<p>昨年は、ユネスコ文化遺産登録やコロナ明けなどから各地への公演活動が活発に行われた年となりました。特に11月の東京青年館での全国民俗芸能大会への参加は、30年ぶりのことでした。 当時、小学生として小踊りに参加した子供達が、今は綾子踊りを担う立場になっています。踊りの継承は難しいことで一杯ですが、希望も見えて来たような気がしています。</p>
冊々会	<p>毎年「冊々会書作展」を開催し、早今年で27回目となります。高松市立美術館で10回記念展をし、書家としての集大成の個展も開催。順風満帆でした。その年の12月脳出血により、右手足麻痺となり、四か月入院中に今まで使った事のない左手に利き手交換をし出発。丸17年、右手と全く変わりなく、一度も立ち止まる事なく書道家として続けて来られたのは励ましてくれた書友、弟子達のお陰です。これからも宜しく！</p>
四国デザインフェュージョン	<p>四国デザインフェュージョン2023の活動に助成いただきありがとうございます。今年度は、令和5年10月14日（土）から15日（日）の2日間、四国デザインフェュージョン2023を開催、香川県文化会館において、学生のためのスツールアワード、建築デザインに関する映画作品「二人のイームズ～建築家チャールズと画家レイ」の上映（2回）、デザインに関する知識、経験豊富な方3名によるトークセッション、県内デザイナーいち推しの椅子の展示や各団体の紹介パネル展を恙なく開催することができました。</p>
公益財団法人四国民家博物館	<p>1976年10月の開村から50年近くが経つ中、次の50年～100年を展望し2022年4月に大規模なリニューアルを実施しました。その様な中、エントランスに新築しました“おやねさん”は2023年グッドデザイン賞を受賞する特徴的な建物になっております。 また、今回のリニューアルにあたり、当館の使命を“四国各地から移築した建物や道具類に込められた昔の人々の労苦や、知恵、祈りを次の世代に繋げていくこと”と再定義し、家々での昔の人々の営みや暮らしぶりをわかり易く伝えるべく、映像や解説、音声ガイド、案内表示等を充実させておりますので、より多くの方々のご来村を心よりお待ちしております。</p>
四国民謡研究会	<p>1974年8月毎年夏に各地で盆踊りやふるさとの民謡を踊っている 同好の方々「民謡を通じてお互いの和を図りふるさとを再認識しよう」と産声をあげ「第1回さぬき民謡まつり」を開催しました。以来、昨年8月6日（日）には第50回の節目の年であり記念公演を盛大に開催しました。歌手の唄にのせて出演者の皆さんや観客席の皆さんが一緒になって「正調一合ました」「さぬきうどん音頭」等大きな民謡の輪ができました。 次代を担う2歳の子供達から90歳代の高齢者の皆さんが楽しく踊り、踊りの輪が広がりよるこびのお顔でした。皆さんのご声援ありがとうございます。 今年度は8月25日（第4日曜日）サンポートホール高松小ホールで開催します。どうぞよろしくお祈りいたします。</p>
史跡一夜庵保存会	<p>俳諧の祖、山崎宗鑑が生涯を終えた一夜庵を周知するため、インターネット等での投句による全国青少年俳句大会を実施しております。現在第5回大会の作品募集をしておりますが、県内の小・中・高生を始め、全国各地から投句されるようになっております。</p>
七宝古流本村夫婦獅子舞保存会	<p>4年ぶりに、獅子舞保存会活動ができ、天満天神宮、浪打八幡宮秋季例大祭奉納、イベント等も無事終えることができました。 今後も、舞の流儀である「七宝古流」別名「乾坤の舞」を若手へ伝承し、郷土芸能の発展、地域貢献に尽力して参ります。</p>

団体名	内 容
自由美術協会香川グループ	<p>前回に続き、昨年の第87回自由美術展（東京本展）では、平和賞や佳作賞の受賞などメンバーの活躍が光った本展でした。</p> <p>今年は、毎年開催しています香川グループ展が50回目を迎えます。記念する今年のグループ展、より充実したものになるよう、会員一人ひとりいい作品を発表できるように頑張っています。</p>
女子美術大学同窓会香川支部	<p>女子美術大学は、東京と神奈川にある女性ばかりの美大です。各県に同窓会支部があり、現在香川支部の会員は46名です。</p> <p>主な活動は、①年に1度の総会②2年に1度の作品展（絵画、工芸、写真など）開催③会員を講師とした支部内ワークショップ④ミニ研修旅行などです。（コロナ禍前は、社会貢献の一環として親子を対象としたワークショップを年2回行っていました。）</p> <p>女性ばかりのにぎやかで楽しく、芸術大好きなクリエイティブな集りです。</p> <p>※次回作品展は、2025年予定です。</p>
公益社団法人 瀬戸フィルハーモニー交響楽団	<p>瀬戸フィルハーモニー交響楽団は、設立以来、定期演奏会をはじめ自治体、企業などへの出張演奏や県内外の文化団体との共演など多彩な演奏活動を展開しています。</p> <p>3月17日には、ミュージックアドバイザーに就任いたしました指揮者の大友直人氏を迎え、香川初演であるレスピーギ作曲の大曲「ローマ三部作」で第40回記念定期演奏会を開催いたします。</p>
箱絃会	<p>住友生命いずみホール（大阪）における「宮城道雄をしのぶタペ」新音主催、「箏曲宮城会近畿支部演奏会」等々の演奏会に出演するほか、NHK-FM「邦楽のひととき」（令和5年9月放送）に出演しました。</p> <p>栗林公園等で社中勉強会を実施しています。</p>
高松交響楽団	<p>2023年度の主な活動</p> <p>6/18 第128回定期演奏会 新型コロナが感染症法上5類に移行されたことにより、あらためて医療関係者への感謝を込めた演奏会として開催しました。</p> <p>11/12 観音寺特別公演 初となる観音寺市での演奏会をハイスタッフホールにて開催しました。</p> <p>11/26 第129回定期演奏会 11月の2公演においては第5回高松国際ピアノコンクールにおいて香川県人として初入賞された西本裕矢さんをソリストにむかえて開催しました。</p> <p>12/3 高松市美術館にて高松交響楽団員によるクリスマスコンサートを開催。</p> <p>なお、第130回定期演奏会（2024/6/23）には第5回高松国際コンクールで2位に入賞された青島周平さんをソリストにお迎えし開催いたします。</p>
高松国分寺ホール	<p>2023年は、開館10周年の記念すべき年でした。太鼓や落語の伝統芸能、地元ミュージシャン、文化活動にいそしむ市民の発表、体験事業など30を超える事業を開催しました。</p> <p>ところが9月下旬、観覧席移動システムの不具合により全面平土間利用ができなくなり、研修会、展示会予定のお客様にご不便をおかけしました。復旧のめどはこれからですが、地域の文化活動を止めることのないよう、スタッフ一同真心で尽力してまいります。</p>
高松市美術協会	<p>高松市美術協会は、主な行事としては市民美術展の開催、各種講習会の開催、美術研修旅行の開催など地域の文化活動を支援する目的で活動を続けています。</p> <p>市民美術展は今年4月に開催しますが、50回目の開催となり、記念展として各種イベントを準備しています。</p> <p>また、各種講習会の開催では、絵画、工芸、書、墨彩、篆刻、写真など幅の広い内容のものを開催しています。一般の方の参加を呼びかけ美術活動の定着や楽しさを多くの方とともに共有したいと思っています。</p> <p>美術研修旅行では、日帰りの日程で美術館や関連の施設等を見学、研修の目的で訪れています。今後とも行事の内容や活動の方向については、協議、相談しながら地域文化活動を支援する目的で息の長い取り組みを行っていきたくと考えています。</p>
公益財団法人高松市文化芸術財団 (サンポートホール高松)	<p>一部を除き、施設は2年間の大規模改修工事を行っておりましたが、本年4月にリニューアルオープンし、全館ご利用いただけることとなります。</p> <p>またホールは開館20周年を迎え、多彩な記念事業などを予定しています。</p>
ダンスカンパニー ウィズ	<p>型にとらわれず個性豊かなコンテンポラリーダンス創作を試みています。昨年、節目となる20回目の定期公演を無事終え、周囲の方々に支えられて舞台を作り続けられたことに心から感謝します。</p> <p>時事や経験、感性からテーマを置き、異分野の芸術家とコラボレーションしながら、ジャンルを超えたオリジナル作品を創作してきた結成24年目の今年は、原点に戻って、純粹に今やりたいこと+他の人がしないような事々々をダンス化し、多彩な表現を楽しみたいと考えています。</p>

団体名	内 容
筒野虎獅子保存会	4年ぶりの秋祭り開催で、どれ位の会員が集まるのか不安でしたが、以前と変わらず大勢の方に集ってもらい盛大に活動する事ができました。今後も伝統芸能の保存・伝承のために頑張ってまいります。
独立美術四国絵画研究会	独立美術四国絵画研究会は、東京に本部を置く独立美術協会に所属の四国地域の会員、準会員、会友、出品者の方たちで構成されています。絵画表現のさらなる進化と技術の向上を目指しています。 主な活動は、「独立美術四国会展」を高松市美術館で開催しており、東京本部からは、文化勲章受章者や芸術院会員の独立美術協会を代表するような方を講師としてお招きして講習会を開催しています。 講評会は一般公開をしており、だれでも無料で参加できます。独立美術四国絵画研究会のメンバーの活躍は、独立展（本展）での入選、入賞に限らず、地元の展覧会においても知事賞、香川県教育委員会賞、各市の教育委員会賞など数多く受賞しており、活動の成果が表れているように思います。今後とも、地域に根差した活動を続けて、地域文化の向上に資する覚悟です。
都山流尺八「都香社」	（公財）都山流尺八楽会主催による「道場コンサート」が、令和6年11月24日（日）香川県文化会館芸能ホールで開催されます。県内流人もたくさん出演する尺八だけの演奏会です。是非とも、ご鑑賞ください。
和コンサート実行委員会	コロナ禍でお休みしておりましたが、次年度より再開したいと思っております。このコンサートは、障害者の演奏者と健全者の演奏者の「ともに音楽を愛する者のコンサート」です。お客様も交えて、和やかな一時を!を目的としています。
日本アフリカンダンス&ドラム協会JADDA	2010年4月より「日本アフリカンダンス&ドラム協会JADDA」はアフリカ文化の普及啓蒙と文化交流を行っています。日本とアフリカ諸国の架け橋となり、文化の進歩発展に寄与する事が使命です。 ・アフリカンダンス&ドラム教室の開催（アフロ☆タイコ倶楽部） ・海外アーティストの招聘 ・音楽と映像作品の制作 ・コンサートや学校施設への慰問演奏等を行っています。 世界的ジェンベ奏者のSolo Keita氏を公式講師に迎え活動を加速してまいります。
日本歌人クラブ四国ブロック	歌人クラブより年3回会報を発行。大会は四県持ち回りで、毎年セミナーを開催しています。
日本G. プッチーニ協会四国支部	指揮者の星出豊を会長に、プッチーニを始め、様々な作曲家の音楽を研究しています。 また、隔年ごとに公開講座とコンサートを開催してきましたが、コロナにより延期していたコンサートを4年ぶりに開催します。今回は、プッチーニを愛した團伊玖磨の生誕100年を記念し、團伊玖磨と交流のあった星出先生のご指導とお話で～團伊玖磨の世界～をお贈りします。
日本民謡・民舞東尾会・さぬきばやし保存会	世界中の方々に風光輝く瀬戸内、香川県の「民謡・民舞」の魅力!!その発信を続けるグループです。 昨年も、夏祭りや盆踊り、そしてステージでの披露やレクチャーなどを通じて生演奏（箏、太鼓、三味線）でご紹介、大変喜んでいただき感謝しています。 この流れに乗って、2024年も風土や生活に根づいた民よりの楽しさをたくさんお届けしたいと思っています。
俳句結社「磁石」香川支部	高齢化しておりますが、月2回（1回は吟行）句会を開いて楽しんでいます。 中村草田男、鍵和田柚子系列で今の主宰は、依田善朗氏です。
ハイスタッフホール	ハイスタッフホールは、1月14日亀井聖矢ピアノ・リサイタルより2024年がスタートいたします。 劇団四季ミュージカル、観音寺市主催公演の若手コンサート、子供ミュージカルと様々なイベントを開催いたします。 ぜひ、ご来場をお待ち申し上げます。
ピアノシモ	継続は力なりの精神で和やかな雰囲気の中、楽しく合奏をしています。 ギター、マンダリンの音色・音楽で自分達はもとより、聴いていただける方が心揺さぶられる、そんな演奏ができればいいと思います。
東かがわ市白鳥虎頭の舞保存会	昨年は、4年ぶりに白鳥神社への奉納ができました。 その他活動も順次再開しています。
肥土山農村歌舞伎保存会	年明けとともに、5月3日の奉納歌舞伎に向け、準備を始める予定です。

団体名	内 容
淵崎村里づくり推進協議会	5月27・28日（土・日） 第17回「淵崎おんばたふる里美術展」開催 第15回「小豆島ふる里写生作品展」開催 年4回 町民のさくら整備 12月10日 第16回「一日視察研修」 高知牧野富太郎植物園研修 R6年2月 さくら施肥等 新年会 3月17日（日） 第13回茶会「小豆島博物館茶会」 年間火曜日 小豆島博物館開館 予約制
豊川会	年に2～3度の発表会を目標として、尺八、フルート等の合奏も練習しております。現在、中学生女子3名、小学生男子2名を含む子供から高齢者まで、楽しく稽古に励んでおります。基本、個人指導です。
豊千会合奏団	いつもお世話になっております。 今後とも、何卒よろしくお願い申し上げます。
丸亀市猪熊弦一郎現代美術館	当館では、コロナの5類移行を契機に、守りの運営から攻めの運営に転換し、2年後の大阪・関西万博そして瀬戸内国際芸術祭2025に向け、猪熊画伯の香川県での功績の積極的な発信や本格的なインバウンド対策などを進めております。 この機会に、香川の文化・芸術団体や施設が力を合わせて、「ふるさと香川」の魅力を全国そして世界に発信しましょう。
湖の会	湖の会は、詩誌「湖」の発行を主目的に、香川を中心とする詩人の集りです。 県外では函館、東京、浜松、大阪、奈良、その他にも同人がおります。 湖は現在83号まで発行していて、同人は18名ですが、多少の移動があります。 会費は原稿提出時に3千円納入してください。湖5冊配付します。入会希望の方は、ハガキに住所、筆名（本名）、電話番号を書いて次の発行所へ送ってください。（761-1703 高松市香川町浅野385-53 湖の会） 折り返し、資料を郵送します。
三木コーロ・カリータ	令和5年は4月「さぬき市合唱祭」に出演し、秋には4年ぶりに開催された三木町文化祭に参加しました。 また、11月26日には「コンサートと映画上映会」に出演するなど活動、発表の場が拡がり喜んでいます。 令和6年12月には「三木コーロ・カリータ結成50周年記念コンサート」を予定しています。
三木町こどもに平和な明日を繋ぐ会	音楽と映画で反戦・平和を訴える「コンサート&映画上映会」、今年で3回目を迎えることができました。戦後78年を迎えた今年、生きたくても生きられなかった数多くの人々がいた、その歴史を我々は決して忘れてはならず、あの愚かな戦争を二度とくり返さないよう戦争の記憶を繋いでいかねばならないと思っております。
武蔵野音楽大学同窓会香川県支部	武蔵野音楽大学卒業生で構成されています。 1月には、指導している生徒さん対象の発表会「むさしの会合同演奏会」を3月には大学在大学生と卒業生による演奏会「アミーチ・ムサシノ」を開催しております。 また、学校説明会も大学に協力しながら毎年開催し、大学主催の管弦楽やウィンドアンサンブルにも共催しています。
吉田愛服飾専門学校	高松市美術館、市民ギャラリーとエントランスホールにてファッションショー等の行事を開催いたしました。例年の内容に加え、廃棄材料をテーマにした取組みにも地元企業と一緒に参加しました。高松市の衣料ゴミ集積所より持ち帰った衣服をリメイクしたり、切って接ぎ合せ更に染色し、全く違う服として製品にする取組みにも参加しました。服の未来に向けて色々な繋がりを大切にしたいです。
朗読流星群ライブ実行委員会	2024年は、文芸青い鳥の輪を、仲間を、広げていきたいと思っております。 昨年の県の文化芸術参加の朗読ライブ用の冊子の中に文芸青い鳥のコーナーを作りました。この中には、小説、随筆、似顔絵、詩、童話、定型詩及び朗読等の作品、全9分野を一冊の文芸冊子としました。 是非、皆様の手の中にある人生のストーリーを、青い鳥の本に放ってください。皆様の青い鳥を投稿ください。 今年は、この青い鳥の仲間を広げていきます。よろしくお願ひします。 朗読流星群です。
若藤会	令和6年8月3日・4日にレクザムホール大ホールにて開催される、藤間流藤盛会四国支部公演に若藤会からも6曲（8名）が出演し、日頃の研鑽の成果を発表します。 会員で、現在歌舞伎役者として活躍中の中村梅寿（藤間優三郎）の公演を県下各地で今年も開催していきたいと思っております。